



平成 28 年 1 月 15 日

各 位

会 社 名 キリンホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 磯崎 功典
(コード番号 2503)
本社所在地 東京都中野区中野四丁目 10 番 2 号
問 合 せ 先 グループコーポレートコミュニケーション
担当ディレクター 藤原 哲也
(03-6837-7015)

ダイドードリンコ株式会社とキリンビバレッジ株式会社の 自動販売機における相互製品販売の業務提携に関するお知らせ

当社のグループ会社であるキリンビバレッジ株式会社（社長 佐藤章、以下「キリンビバレッジ」）は、平成 27 年 10 月 14 日開催の同社経営会議において、下記のとおり、ダイドードリンコ株式会社（社長 高松富也、以下「ダイドードリンコ」）と自動販売機における相互製品販売に関する業務提携を行うことを決定し、ダイドードリンコが平成 28 年 1 月 15 日開催の同社取締役会において同じく決議を行ったことにより、提携が成立しましたので、お知らせいたします。

記

1. 業務提携の理由

国内の清涼飲料市場において自動販売機は、全体の売り上げの約 30%を占める販売チャネルであり、価格や販売数量の変動が比較的少ないという特長から、飲料メーカーにとって重要な販売チャネルと位置付けられています。

今般、両社が提携することにより、自動販売機の競争力を高め、新たな価値の創造をすることで、自動販売機事業の持続的成長が可能になるとの認識に至りました。

ブランド力の高い主力製品を相互の自動販売機のラインアップに加えることで、4つの実現を目指していきます。

- ①主力製品の販路拡大
- ②自動販売機の売上増および収益向上
- ③お客様との接点拡大による製品ブランド力の向上
- ④自動販売機事業の持続的成長

2. 業務提携の内容等

本提携では、ダイドードリンコの主力製品である『ダイドーブレンド ブレンドコーヒー (185g 缶)』及び『ダイドーブレンド微糖 世界一のバリスタ^{※1} 監修 (260g ボトル缶)』を、キリンビバレッジグループで自動販売機事業全般を担うキリンビバレッジバリューベンダー株式会社 (社長 横溝宗親) が管理運営する自動販売機で、キリンビバレッジの主力製品である『キリン午後の紅茶 ミルクティー (280mlPET)』及び『キリン午後の紅茶 レモンティー (280mlPET)』をダイドードリンコが管理運営する自動販売機で、本年4月より相互に販売を開始します。

※1：ワールドバリスタチャンピオンシップ 2013年チャンピオン ピート・リカータ氏

◇ダイドードリンコ 「ダイドーブレンド ブレンドコーヒー」

1975年に発売し、昨年11月で発売40周年を迎えたロングセラー製品。「香料無添加」にこだわり厳選5ヵ国豆を焼き分けたこだわりの浅煎りブレンドで、コーヒー本来の豊かで複雑な味わいを実現した「ダイドーブレンド」ブランドを代表する製品。発売以来“変わらない美味しさ”を提供し続けている。

◇ダイドードリンコ 「ダイドーブレンド微糖 世界一のバリスタ監修」

2014年に発売した「世界一のバリスタシリーズ」のボトル缶タイプの微糖缶コーヒー。20種の焙煎豆を使用することでコク深さとキレの良さを両立。「香料無添加」「研磨豆使用」などにより実現したコーヒー本来の味わいが、時間をかけて飲んでも続くと好評で、伸長を続けている。

◇キリンビバレッジ 「午後の紅茶 ミルクティー」「午後の紅茶 レモンティー」

1986年に発売し、今年30周年を迎えた午後の紅茶。2015年の販売実績が発売以来過去最高となるなど、紅茶飲料のNo.1ブランド^{※2}として市場を牽引している。ミルクティーはミルクと相性の良いキャンディ茶葉を使用した香り高くコク深い味わい、レモンティーはさわやかな香りのヌワラエリア茶葉を使用した香り高くすっきりとした味わいが特長。

※2：株式会社食品マーケティング研究所調べ (2014年実績)

3. 業務提携の相手先の概要

| | | | | |
|-------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|------------|------------|
| (1) 名 称 | ダイドードリンコ株式会社 | | | |
| (2) 所 在 地 | 大阪市北区中之島二丁目2番7号 | | | |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 高松 富也 | | | |
| (4) 事 業 内 容 | 清涼飲料等の製造販売 | | | |
| (5) 資 本 金 | 1,924,325,000円 | | | |
| (6) 設 立 年 月 日 | 昭和50年1月27日 | | | |
| (7) 大株主及び持株比率 | ハイウッド株式会社 14.91% 有限会社サントミ 12.14% タイタコーポレイション株式会社 4.45% (平成27年7月20日現在) | | | |
| (8) 上場会社と当該会社との間の関係 | 資 本 関 係 | 当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。 | | |
| | 人 的 関 係 | 当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。 | | |
| | 取 引 関 係 | 当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。 | | |
| | 関連当事者への該当状況 | 当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。 | | |
| (9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態 | | | | |
| | 決算期 | 平成25年1月期 | 平成26年1月期 | 平成27年1月期 |
| 連 結 純 資 産 | | 79,097百万円 | 82,554百万円 | 84,734百万円 |
| 連 結 総 資 産 | | 140,487百万円 | 146,479百万円 | 147,894百万円 |
| 1株当たり連結純資産 | | 4,670.18円 | 4,872.53円 | 4,999.88円 |
| 連 結 売 上 高 | | 148,902百万円 | 154,828百万円 | 149,526百万円 |
| 連 結 営 業 利 益 | | 7,934百万円 | 6,004百万円 | 5,174百万円 |
| 連 結 経 常 利 益 | | 7,725百万円 | 5,962百万円 | 4,470百万円 |
| 当 期 純 利 益 | | 4,410百万円 | 3,712百万円 | 2,322百万円 |
| 1株当たり連結当期純利益 | | 266.22円 | 224.08円 | 140.16円 |
| 1株当たり配当金 | | 60円 | 60円 | 60円 |

4. キリンビバレッジの概要

| | |
|---------------|---------------------------------------|
| (1) 名 称 | キリンビバレッジ株式会社 |
| (2) 所 在 地 | 東京都中野区中野四丁目 10 番 2 号 中野セントラルパークサウス |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 佐藤 章 |
| (4) 事 業 内 容 | 清涼飲料等の製造販売 |
| (5) 資 本 金 | 8,416,500,000 円 |
| (6) 設 立 年 月 日 | 昭和 38 年 4 月 15 日 |
| (7) 大株主及び持株比率 | キリン株式会社 100% (キリン株式会社は当社の 100%子会社) |

5. 日 程

| | |
|-------------|--------------------|
| (1) 経営会議決議日 | 平成 27 年 10 月 14 日 |
| (2) 契約締結日 | 平成 28 年 1 月 15 日 |
| (3) 事業開始日 | 平成 28 年 4 月上旬 (予定) |

6. 今後の見通し

本件の当社連結業績に与える影響につきましては、軽微であります。両社の自動販売機事業の競争力強化ならびに主力製品のブランド力向上に資するものと考えております。

また、今後につきましては、両社にて自動販売機のバリューチェーンにおける収益向上等の可能性を検討していきます。

以上